

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

広島県 安芸高田市

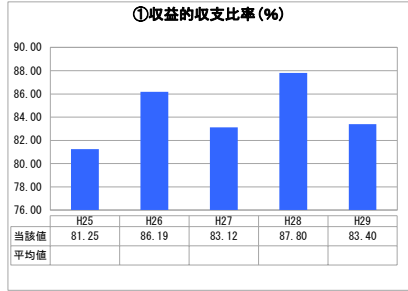
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	14.47	94.73	3,348

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
29,278	537.75	54.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,196	1.78	2,357.30

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



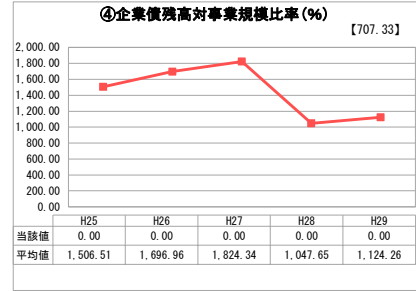
「単年度の収支」



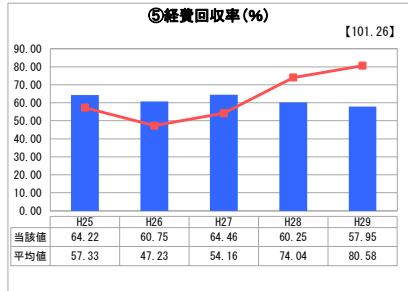
「累積欠損」



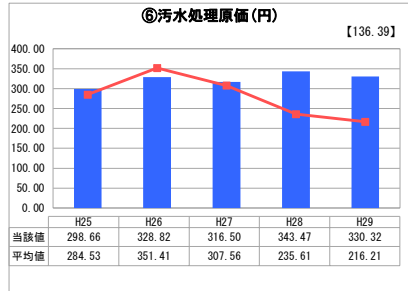
「支払能力」



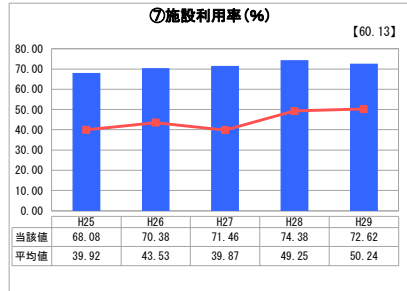
「債務残高」



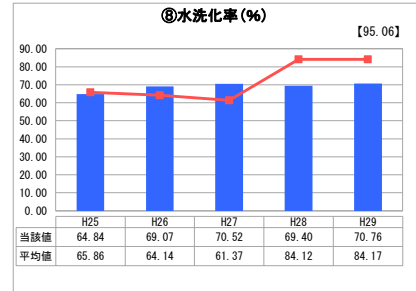
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

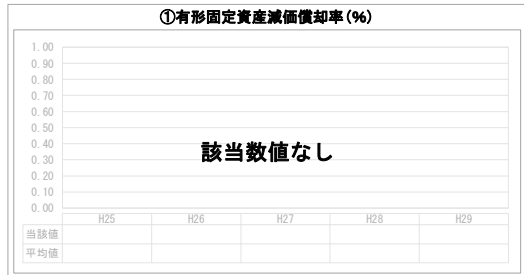


「施設の効率性」

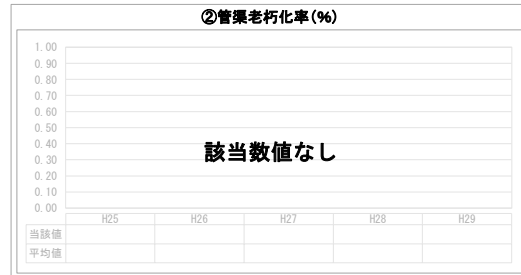


「使用料対象の捕捉」

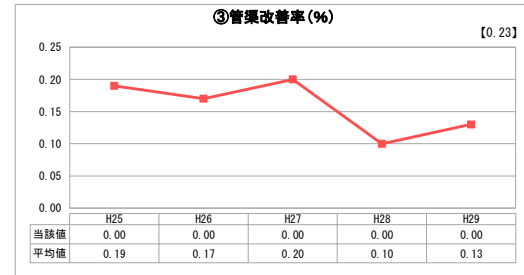
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

単年度の収支を表す「①収益的収支比率」は83.4%とこれまでに続き80%台を推移している。面整備完了から3年を経過し新規加入者も頭打ちになったことが要因と考えられる。

処理区域内で水洗化している方の割合を示す「⑧水洗化率」は70.76%と前年度に比べ若干上昇しているものの「⑤経費回収率」や1㎡当たりの処理に要した費用を示す「⑥汚水処理原価」、施設の一日の処理能力に対する平均処理水量の割合を示す「⑦施設利用率」などはこれまでのやや上昇から横ばいに推移している。

これらについて、施設利用率は約7割とさほど過大な施設整備をしていないが、経費回収率は減少傾向にあり使用料金水準が要因のひとつと考えられる。また、水洗化率は横ばい傾向であり、汚水処理原価の高止まりの要因の一つとして使用料対象の伸び悩みが考えられる。今後は人口減少の影響から使用料収入の低下が懸念される。

### 2. 老朽化の状況について

平成13年度から供用開始し16年が経過している。現在、大規模な施設の更新時期は迎えていない。今後は更新時期に併せストックマネジメント計画を作成し、計画的な更新を実施していく。

### 全体総括

平成28年度から年次更新している経営戦略から経営状況を把握し、事業の継続を目的として効率性・健全性を高めていく。

また、加入促進による水洗化率の向上や使用料改定による収入の確保に努めていく。施設については老朽化する施設や機器を維持管理面からの視点を併せ計画的かつ効率的な更新を実施していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。